

## 第2期徳島市まち・ひと・しごと創生総合戦略の方向性

### 1 策定の趣旨

国では、まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間が今年度までとなっていることから、第2期の策定作業が進められているが(今年12月に策定予定)、徳島市においても、国や県と協調し、切れ目なく地方創生を推進するため、「第2期徳島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下、「第2期総合戦略」という。)の策定を行うものである。

### 2 「徳島市人口ビジョン」の改訂方針

人口の現状は、平成27年国勢調査など直近の統計情報を踏まえて、時点修正を行うとともに、人口の将来展望については、社会情勢の変化などと併せて、国や県の動向を踏まえつつ、必要な改訂を行う。

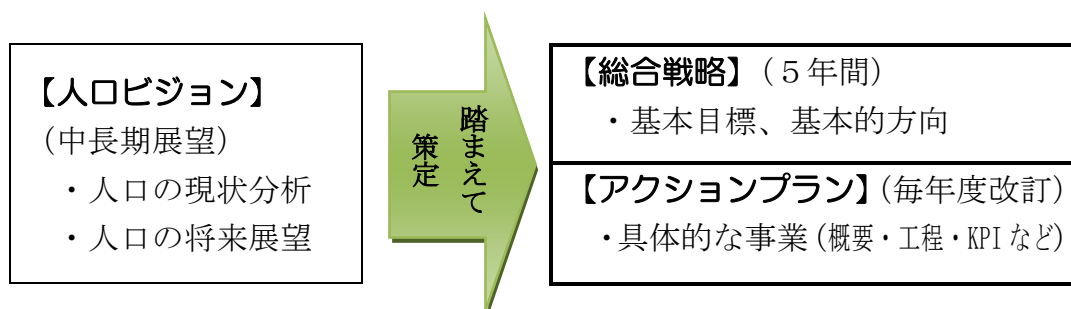
### 3 「第2期総合戦略」の策定方針

#### (1) 計画期間

令和2年度から令和6年度までの5年間(国と同様)

#### (2) 構成

改訂した「人口ビジョン」に掲げる将来展望の実現に向けて、今後取り組む目標や施策の基本的方向を示した「第2期総合戦略」を策定し、第1期総合戦略同様、具体的な事業を定めたアクションプランを毎年度作成することで、柔軟かつ機動的に取り組む。



### (3) 基本的な考え方

#### ア 見直しの範囲

第1期総合戦略策定時からの社会変化（情報通信技術の更なる進展、巨大災害の切迫など）に対応するため、見直し対象を限定せず、基本目標を含む全ての内容について、見直しを視野に入れた検討を進める。

※ 次頁に示している第1期総合戦略の構造（基本目標－施策方針－施策）を基本としつつ、基本目標・施策の見直しについては、次の方針で検討を進める。

- ・基本目標：第1期総合戦略の枠組み（雇用・出生数等に関する基本目標を4つ設定）をベースに、現在の課題等を踏まえた見直しを行う。
- ・施策：基本目標との関係を整理し、新規追加・継続実施・廃止・組替を検討する。

#### イ 第1期総合戦略の効果検証を反映

第1期総合戦略の効果検証を踏まえ、基本目標や施策等の妥当性等を確認し、施策体系の見直しや取組の充実・強化を検討していく。

また、KPIの設定については、効果の測定に適切であるか等に留意して行う。

#### ウ 全庁体制での推進

施策体系などの基本的方向を見直し、第1期総合戦略で位置付けられていない施策も含む幅広く多様な取組を位置付け、地方創生の推進に全庁体制で取り組む。

#### エ 新たな視点

国が第2期の策定において重視している新たな視点（関係人口の創出・拡大、Society5.0、SDGs等）を踏まえて、第2期総合戦略の策定に取り組む。

【参考】第1期総合戦略の施策体系

基本目標	施策方針	施策
チャレンジ1 若者の夢は徳島市で実現する	地域産業の競争力強化	新商品開発・販路拡大支援
		域内経済循環の拡大
		農林水産物ブランド化の推進
		経営革新の促進
	起業創業支援・人材育成	大学と連携した起業促進・人材育成
		創業のサポート
		中小企業の人材育成
		高大連携の促進
	雇用創出	企業誘致の促進
社会のニーズに合致する雇用の確保		
女性の就業促進		
チャレンジ2 子育てするなら3人以上	子育てにかかる負担軽減	経済的負担の軽減
		切れ目のないサポート
		家事・育児にかかる負担軽減
		住居にかかる負担軽減
	地域ぐるみの子育てサポート・啓発活動	サポート体制の充実
		地域における子育ての拠点づくり
		子育てに関する啓発活動の推進
		子育てを応援するまちづくり
	次世代を支える人づくり	次世代の積極性向上
		若者の積極性向上
		子育て世代の積極性向上
		シニア世代の積極性向上
チャレンジ3 心おどる水都・とくしまが一番面白い	都市の魅力発信	物語性を持った都市の魅力発信
		積極的なPR活動の展開
		魅力体験の環境づくり
	移住・定住促進	定住の場としての魅力の明確化と情報発信
		大学生の地元就職促進
		新規就農の促進
	中心市街地の魅力向上	人が集まる仕掛けづくり
		都市を象徴する場としての環境整備
		中心商店街の活性化
チャレンジ4 進化する地域社会は持続する	持続可能な新たな社会システムの構築	公共交通の再編、利用促進
		地域包括ケアシステムの構築
		社会の変化に適応する制度運用
		市民参加の促進
	既存資源の有効活用	公共施設のライフサイクルコスト削減
		遊休施設の利用促進
		オープンデータ化の促進

#### (4) 策定スケジュール（予定）

